

近藤道柄 （こんどう みちかづ） 婦人運動家。明治二十六年一月二十日東京生れ。昭和五十八年二月十八日歿（七〇三―三三）。社会主義者堺利彦の長女。本名まがら。筆名めら子、堺道柄、赤瀾會員等。大正九年成女高等女學校卒。翌年婦人社會主義團體赤瀾會設立世話人、十一年日本共產黨入黨、十四年政治研究會婦人部員、昭和四年無産婦人同盟結成、七年社会大衆婦人同盟書記長。この間高瀬清と結婚し、離婚して十年無政府主義者近藤憲と二再婚。四十五年日本婦人有権者同盟會長。著書『ロザの手紙』（ロザ・ルンゼンバルクの獄中消息）（堺道柄名、編、三版・昭和四年六月十九日無産社→無産社パンフレット）、『このたゞの回想』全三冊（上、下・昭和五十八年十一月）二十五日ドメス出版）等。